

第2次北しりべし定住自立圏共生ビジョンの策定の経過 及び概要について

1 北しりべし定住自立圏の形成と共生ビジョンの目的、経過について

北しりべし定住自立圏の形成は、人口減少や少子高齢化が進む北後志圏域における共通の課題解決に向けて、中心市宣言を行った小樽市と近隣の5町村（積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村）との間で定住自立圏形成協定を締結し、相互の役割分担と連携の下、住民の定住に必要な都市機能と生活機能の確保及び充実を図るとともに、自立に必要な経済基盤の整備を促進することにより、魅力あふれる圏域を創造するための取組です。

また、共生ビジョンは、圏域の将来像を提示し、その実現に向け、各市町村の協定に基づく、医療や地域公共交通の確保、産業振興などに関する具体的な取組を推進するため、中心市である小樽市が、民間や地域の関係者を構成員とする懇談会での検討や各近隣町村との協議を経て、策定するものです。

(経過)

- 平成21年 9月15日 小樽市が中心市宣言
- 22年 3月 各市町村議会に定住自立圏形成協定の締結に関する議案を上程し、すべての議会で議決
- 22年 4月 1日 小樽市と各5町村とが1対1で協定を締結
- 11月29日 平成22年度から平成26年度までの5年間を取組期間とした「北しりべし定住自立圏共生ビジョン」(第1次)を策定

2 第2次北しりべし定住自立圏共生ビジョンの概要について

第1次共生ビジョンの取組期間が今年度で終了するため、平成27年度から平成31年度までの5年間を新たな期間として第2次共生ビジョンを策定し、取組を継続します。

